

平成23年度 で どころ 「栗原市のお金の出所と使い道」

(栗原市予算概要)



(「9.1 総合防災訓練」～あの震災を忘れない～ から)

つく
「市民が創る くらしたい栗原」

～ 目 次 ～

はじめに

市民のみなさま、こんにちは。市長の佐藤 勇です。
この度の東日本大震災により、被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



大震災からまもなく3カ月、岩手・宮城内陸地震から3年を経過します。二度にわたる大規模災害により市内でも多くの被害が発生しましたが、市民生活の再建に向け、また施設等の復旧に向けて懸命に努力してまいりますので、ご協力をお願い致します。

平成23年度は、「がんばろう 日本」を合言葉に震災復興に取り組むとともに「市民が創るくらしたい栗原」の実現に向け「一日一生」の思いで、日々全力投球で市政運営に取り組んでまいります。

特に、「子は何者にも優る宝である」という考えのもと、小・中学生の入院にかかる自己負担費用の助成に加え、新たに通院に係る自己負担費用の助成を実施、「学府くりはら」の実現に向け、学校再編計画に基づいた金成小中一貫校の建設など、次代を担う子どもたちの安全で安心して学べる環境づくりを進めてまいります。

また、栗原ブランドの確立・支援事業では、インターネットや通信販売を活用したダイレクトマーケティングを推進、さらには、夏の伊豆沼・内沼、秋の紅葉を始めとする様々な地域資源や地域の総合力を活用し、数多くの事業に取り組んでまいります。

さて、「栗原市のお金の出所と使い道」は、今年度で6度目の発行となり、予算の仕組みや事業内容を「わかりやすく」、「見やすく」を心がけて作成したものでありますが、お気づきの点があればご意見などをお寄せいただきながら、市民の皆さまとともに、地域の活力を盛り上げていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年6月

栗原市長

佐藤 勇

はじめに

予算の概要と市政の基本的な目標	1
平成23年度栗原市各種会計 予算総括表	2
一般会計歳入・歳出の状況	3
一般会計・事業別予算一覧	7
1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」	
(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します	10
(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します	11
(3) 安全・安心なまちづくりを推進します	13
2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」	
(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します	14
(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します	15
(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります	15
3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」	
(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います	16
(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります	18
(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します	20
4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」	
(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます	21
(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します	22
(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します	23
5 「市民がまちづくりを楽しめるまち」	
(1) 小さなコミュニティを大切にした地域づくりを推進します	24
(2) 市民が自ら行うまちづくり活動を支援します	24
(3) 市民満足度を重視した効率的な行政サービスを行います	24
6 「平成20年岩手・宮城内陸地震」からの復興を目指します	25
7 特別会計・事業会計予算の主な事業	27
8 平成22年度からの主な繰越事業	29
9 東日本大震災関係予算	31

予算の概要と市政の基本的な目標

1. 予算作成にあたって

平成23年度の予算は、「栗原市総合計画」や「栗原市震災復興計画」を基本に、新たな事業では、(仮称)栗原消防署北分署の建設や高規格救急車の5署所すべてへの配置、子育て対策では、小・中学生への通院医療費の自己負担額の助成の拡大、教育施設では、(仮称)金成小中一貫校や若柳中学校校舎の改築事業、図書館の開架書庫の拡張による図書機能の充実、農業振興では、^{しげひろ}茂洋産子の保留・導入の強化、震災復興では、温泉宿泊施設の災害復旧事業費の補助、災害援護資金貸付金の利子補給などを実施してまいります。

加えて、東日本大震災に係る予算として、避難所経費や災害廃棄物処理経費のほか、道路や橋りょう施設、農道や水路などの農業用施設、学校や社会教育施設、水道や下水道施設などの復旧経費を補正予算として措置しております。

2. 予算の概要

平成23年度一般会計の当初予算は、

413億3,000万円 (対前年度6.7%、25億7,800万円増)

国民健康保険や介護保険、簡易水道や下水道、診療所などの特別会計の当初予算は、8会計合わせると、

227億8,260万円 (対前年度5.1%、11億1,374万円増)

※老人保健特別会計は、平成22年度限りで廃止となりました。

水道事業会計と病院事業会計の事業会計の当初予算は、2会計合わせると、

110億900万円 (対前年度9.4%、9億4,300万円増)

すべての会計を合わせると

751億2,160万円 (対前年度6.6%、46億3,474万円増)

東日本大震災に係る平成23年度に補正した予算は、

一般会計は75億21万円、特別会計は23億7,442万円、事業会計は12億9,552万円となります。全会計では111億7,015万円。

※水道事業会計及び病院事業会計は、収益的及び資本的支出額の合計額です。

当初予算をつくる上で基本となる大きな柱は、栗原市総合計画の基本目標である5つの分野と「栗原市震災復興計画」を合わせた6つの分野に分けて予算を組み立てました。

以下、分野ごとに具体的な予算の内容をご説明します。

平成23年度栗原市各種会計 当初予算総括表

会計区分	平成23年度予算額	平成22年度予算額	比較	伸率(%)	
一般会計	413億3,000万円	387億5,200万円	25億7,800万円	6.7	
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	91億4,950万円	88億1,210万円	3億3,740万円	3.8
	老人保健特別会計	-	132万円	△132万円	皆減
	介護保険特別会計	77億5,950万円	69億4,800万円	8億1,150万円	11.7
	後期高齢者医療特別会計	8億5,360万円	8億7,244万円	△1,884万円	△2.2
	下水道事業特別会計	29億600万円	28億3,900万円	6,700万円	2.4
	農業集落排水事業特別会計	2億3,400万円	2億8,000万円	△4,600万円	△16.4
	合併処理浄化槽事業特別会計	3億6,600万円	3億3,500万円	3,100万円	9.3
	簡易水道事業特別会計	10億6,700万円	11億3,000万円	△6,300万円	△5.6
事業会計	診療所特別会計	4億4,700万円	4億5,100万円	△400万円	△0.9
	水道事業会計	20億4,300万円	18億4,800万円	1億9,500万円	10.6
	病院事業会計	89億6,600万円	82億1,800万円	7億4,800万円	9.1
合計	751億2,160万円	704億8,686万円	46億3,474万円	6.6	

※水道事業会計、病院事業会計は収益的支出及び資本的支出額を記載しています。

※老人保健特別会計は、後期高齢者医療制度への移行により平成22年度限りで廃止しました。

